

「大丈夫」

聖書
講演会の
ご案内

【大丈夫?】

「異常気象、地震、物価高騰、紛争…」私たちの周りから「大丈夫」と言えるものがなくなりつつあると考えるのは私だけでしょうか。時代が進み、人の知恵や文化が発展しているのに、不安なことは増えているような気がします。生存や安全の保障という人間の基本的なニーズが満たされないとなると、「この先大丈夫?」と考えざるを得ません。

【本来の人】

聖書にある「詩篇」の作者は、自分自身が守りと安全を必要としていると感じながら、「私の助けはどこから来るのか」と思案しました。人はひとりで生きることができないというのが聖書の基本的な主張です。それは環境や状況によることではありません。本来人はひとりで生きようには造られていないということです。そもそも自分自身の力と意志をもって生まれてくることはできません。日々他者の助けを必要として生活しています。

【弱さ】

それは、「人は弱い」ということでもあります。今の社会は弱さを克服して競争に負けない生き方が求められます。しかし聖書は違います。本来ひとりで存在できない人が生きることができるように、助けを当然得て生きることを教えています。

つまり、「弱くても大丈夫」ということを前提にした生き方です。生後約一年は歩くことができない赤ちゃんは、人の弱さを象徴しているのではないのでしょうか。一方動物は生まれてすぐに歩き出します。本来の生き方が違います。

【人の助けが及ばない領域】

人が助け合って生きる姿は本来のあるべき姿です。しかし、人生には人の助けが及ばない領域があります。そのときに私をまるごと受け止めてくれる助けが必要です。作者は「私の助けは…天地を造られたお方から(来る)」と言っています。その方は「すべてのわざわいからあなたを守り、「とこしえまでも守られる」とも言っています。全能の力で、休むことなく永遠に守るということです。それは人が決して勝つことのできない死からの守りも含まれます。それはキリスト教の根幹にあるキリストの十字架の死と復活により可能です。「大丈夫」の根拠はそこにあります。

【おわりに】

- 自分の弱さをどう受け止めるのか?
- 自分の助けをどこから得るのか?
- 大丈夫と断言できる根拠はどこにあるのか?

これらのことを考えるきっかけとして、聖書講演会を開催いたします。どなたでもご自由にご参加ください。祝福を祈ります。

HP



インスタグラム



立川聖書
バプテスト教会

立川聖書バプテスト教会 牧師 井口拓志

講師紹介

牧師

滝山聖書バプテスト教会牧師
鄭永健【テイエイケン】



9/29 (SUN)

第1回 11:00 ~

第2回 14:30 ~

会場：立川聖書バプテスト教会

西武立川駅より徒歩15分

駐車場有り

中国吉林省出身、1968年無宗教家庭で生まれる。2000年に来日し、2009年に救われ、滝山教会に導かれバプテストを受ける。2016年4月に副牧師を経て、同年9月に滝山聖書バプテスト教会の牧師に就任する。

趣味：散歩・読書。

家族：妻と二人の家族、今東京東久留米市に在住。